

令和7年5月20日臨時部長会議 会議録（要旨）

- ◇日 時 令和7年5月20日（火） 午前9時00分から午前9時20分まで
- ◇場 所 市役所第一庁舎5階 庁議室
- ◇出席者 市長、西澤副市長、松山副市長、教育長、上下水道事業管理者、総務部長（代）、企画政策部長、財政部長、地域・市民生活部長、保健福祉部長、保健所長、こども未来部長、環境部長、経済産業振興部長、観光文化部長、スポーツ部長、農林部長、建設部長、都市整備部長、会計局長、教育次長（行政及び教育（代））、上下水道局長、消防局長、議会事務局長（代）、危機管理防災監、政策調整監及び関係課職員

◇会議内容

1 協議事項

（1）市内バス路線廃止に伴う対応（案）について（企画政策部）

標記事項について、企画政策部長から説明した。（資料1参照）

○質疑

〔会計局長〕7ページ、乗り合いタクシー（牟礼線）の運賃は同一地区内200円、地域外400円となっているが、具体的区間はどうか。

〔交通政策課〕同一地区内は長野市内を示しており、長野市内の運行は200円、飯綱町へ行くと400円である。

○今後の方向性

原案を了承

2 一括議論・一括承認事項

（1）令和7年6月市議会定例会提出議案について（総務部）

標記事項について、総務課長から補足説明した。（資料2参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

（2）令和7年度6月補正予算（案）について（財政部）

標記事項について、財政部長から補足説明した。（資料3参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

（3）令和6年度3月専決補正予算について（財政部）

標記事項について、財政部長の説明省略。（資料4参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

[市長]

- 先ほどバス路線廃止の代替対応（案）の説明があり、通勤・通学、或いは地域で日頃バスを使っている方々は、まずは一安心だとは思う。
- ただ我々としては一安心というわけにはいかない。これまでと同じような行政手法を今後も続けるのか、或いは、エリア地域・全体で新しい公共交通の在り方を考えていくのか、議論する時期に来ていると考えている。
- 公共交通の対応は、単なるバス路線ということだけではなく、通院、通学、或いは部活動の地域移行による子どもの移動手段、或いは観光客をどう観光スポットに送るのかなど、様々な人の移動手段をどう確保していくかを考える必要がある。
- ぜひ皆さんと、協議、相談しながら、これからの長野市の公共交通を作っていきたいので、皆様のご協力をお願いする。

以上